



# 広報 かどま

平成29年  
(2017)

2  
月号

No. 1185

(毎月1日発行)

- 5月1日に市立総合体育館がオープン 3
- 市人事行政の運営状況 3
- 特殊詐欺(振り込め詐欺)にご注意 6
- 市民公益活動事業補助金交付事業が決定 8
- 第31回文化会館ふれあいまつり 9

門真市役所 / 〒571-8585 門真市中町1番1号 ☎06(6902)1231 ☎072(885)1231  
編集と発行 / 総合政策部秘書広報課 ホームページ <http://www.city.kadoma.osaka.jp/>  
市役所の開庁日時 / 平日の午前9時~午後5時30分(年末年始を除く)

人口12万4677人(男6万1572人、女6万3105人) 世帯数6万1632世帯  
転入339人 転出410人 出生64人 死亡104人  
(29年1月1日現在 転入・出などは28年12月中の数字)

## 第6回 中学生英語プレゼンテーションコンテスト

とき 2月26日(日) 午後1時~4時30分 ところ ルミエールホール

### 優秀者は海外研修へ

伝えたいことを世界中の人に英語で表現できたら、どんなに素晴らしいことでしょう。

中学校で学んでいる英語で、どれだけ自分の思いや考えを伝えることができるのか。23年度から開始した「めざせ世界へはばたけ事業」は、国際的な感覚を身につけ、地域や世界で活躍できる人に育ててほしいという大きな願いを含め、「英語プレゼンテーションコ

ンテスト」と「海外派遣研修」という2つの要素を含んだスケールの大きな事業です。

子どもたちが英語を使って、門真から世界へ大きくはばたく第一歩を、会場でぜひご覧ください。

問合せ 生涯学習課 ☎06(6902)7139

2面にも関連記事を掲載しています



5期生 なつめだももほ 森田桃帆さん(第三中学校)

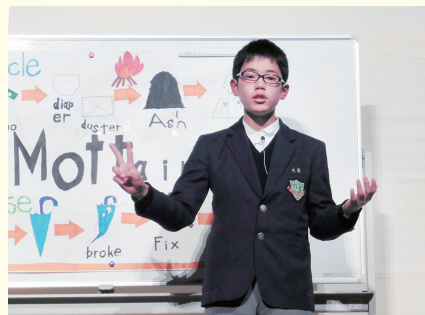
### 日々の大切さを実感

コンテストと研修は、毎日が新しく、学ぶことがどれだけ楽しいものかを実感させてくれるよい機会になりました。

この海外派遣研修は、どれだけ英語が嫌いでも、不思議と英語が分かるようになり、気が付けば大好きになります。家族と一緒にご飯を食べる大切さ、悩みを聞いてくれる友人の大切さにも気がきます。

それらを生かして、周りの人を思いやれる人になりたいですし、将来は英語を通して世界の人が笑顔になれるような仕事に関わりたくです。

この事業は、外国と日本の文化の違いや、外国の人とコミュニケーションを取る上で、英語がどれだけ大切かを知ることができるものだと思うので、ずっと続いていってほしいです。



4期生 大窪凌輔さん(第四中学校出身)

海外研修を通じて得たことは、意外に自分が積極性を持っていると実感できたことです。

新しい自分をつかめただけでなく、グループなどのリーダーとなって、全員で事を起こし、まとめていく、そんなことが少しずつできるようになってきました。

この体験を生かし、一人でヨーロッパ旅行など、自分にとって大きなチャレンジをしていきたいと思っています。

最初は外国に視野を広げずにいた以前の自分…。でも、そんな人々を大きなチャレンジに挑めるような人材に、この事業でつくり育ててほしいです。



過去5年間の海外研修生

夢・希望  
メッセージ

何を学び習得したか  
これまでの5年間で、45人が海外研修を経験しました。その経験から得たもの、そして、それを機に変わったことなどを、各年の代表者に語っていただきました。

※写真は発表当時

大きくはばたけ 門真から世界へ



3期生 白濱咲紀さん(第五中学校出身)

### ボランティアしてみたい

コンテストの最終審査に残ってからも、プレゼンテーションが初めてなことに加え、英語で自分の気持ちを伝えることの難しさに悩みました。

その悩みは、先生方のサポートによって、だんだんと薄れていき、本番では堂々と発表することができました。

コンテストや海外派遣研修の経験から、私は英語を使い、日本に来た外国の方を助けるボランティアなどに挑戦したいと考えています。この事業は、めったに経験できないことを、環境の整った中で、コミュニケーション力、英語力、挑戦心などを自然に身に付けることができます。

ぜひ、多くの中学生の皆さんに挑戦していただきたいです。



2期生 中村彩香さん(第七中学校出身)

### 芽生えた積極性を生かし

海外派遣研修に参加するまで、何事にも消極的で、自分から何かをすることはほとんどありませんでした。しかし、この研修では一人でホームステイします。言いたいこと、やりたいことを伝えるには自分から行動しなければいけません。

服を洗濯させてほしいと頼むために、意を決してホストマザーに声をかけましたが、発音の違いからなかなか伝わらず、涙が出そうになりました。それでも、あらゆる方法で何とか伝わったときは本当にうれしかったです。一生懸命伝えようとする、受け取ろうとしてくれる人は必ずいます。今、看護師をめざしていますが、研修で得た積極性と広く物事を見つめるということを生かしたいです。



1期生 大西亜紗美さん(第四中学校出身)

### 異文化に興味を持って

コンテスト・研修を経験したことが、今、TOEICやTOEFLといった英語能力テストに向けて意欲的に勉強していることにつながっていると実感しています。

ホストファミリーと暮らし、現地の学校で授業を受け、文化に触れるということは、とても刺激的で貴重な体験になりました。

大学では、アジア・太平洋地域を中心に歴史や文化、社会について学んでいます。他国の歴史に触れ、私たちが異なる文化を受け入れることで、グローバル社会に対応できる人になるのではないかと考えています。コンテストを通じて、中学生の皆さんに英語や異文化に興味を持ってほしいと思います。